手順例②

**熱中症による健康障害発生時の対応計画**

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣　等

【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等

　　　　　**状況**

**熱中症のおそれの**

**ある者を発見**

**回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、**

**連絡体制や体調急変時の対応をあらかじめ定めておくこと**

医療機関への搬送に際しては、必要に応じて、救急隊を要請すること。

救急隊を要請すべきか判断に迷う場合は、

＃7119等を活用するなど、専門機関や医療機関に相談し、専門家の指示を仰ぐことも考えられる

**回復**

　　　　　**実施事項**

※医療機関までの搬送の間や経過観察中は、１人にしない（単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する）

**医療機関への搬送**

**作業離脱、身体冷却**

**責任者○○○○**

**（電話○○-○○○○）**

**医療機関**

**○○病院**

**住所：○○市○○町○-○**

**電話：○○-○○○○**